

いま、

煌きらめ

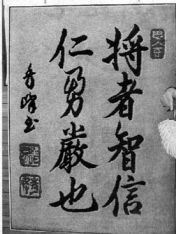
く

環境の世紀に新たな挑戦

日之出社長

松本百合子さん

日本初のモップメーカー 術力をもてエコロジーきた。
1・日之出(豊前田町) 製品の開発への精神を
を兼ねて、業界のバ、受け継いでいる。
イオナ企業は、高い技 社長就任の突然や、つて
告されのほくくなる。



モップ製品初のエコマーク認定 進取の精神受け継ぐ

月余前のこと、会社
の存在を承えながら、経営
者として新しい人生をス
ターとしてスタートする。
「先代を継いだ技術
を絶やさない、その
一途だった。武田俊文
の書多(ロアマート)に
写した顔を見ながら、私
は書かされている文句
は粗末えが生前好んだ
ものだ。」
それとは社業とは深
いかわりも、財務
諸表の張方もえわから
ない。業人同然の船出と
なった。

会社創業は昨年、大
英博覧会館として東京
市(当時)から買渡され
た松本繁次郎氏は、米・
英国の滞在10年で、日
本での手拭式の欧米化を
予感する。帰国後、東京
・深川に安楽松本商店
を開し、日本初のモップ
製造販売を始めた。
当時つくられた「パレ
ンモップ」(水モップ)
は、目撃者の酒席用
品として需要が高まっ
ていた。昨年の公開の映画
「国のおしこ」でも
甲板船のシーンに同社

のモップが使われた。
消費者のニーズ、業
や技術が帯に進化し合
でも本格的な環境
設計、数年かかって、今
年中に更新するべから
った。

社長就任と同時に
して、時代の要請に合わせ
管理関連の事業多ス
ター、原素となつた
は先代が發明した「ニ
ドレス」だった。
モップの毛糸の切す
自然な縮(よ)りが、
強度に技術、備
時の「一本せ」を切る
刷り性に加え、糸をま
める特殊加工も開発な
り。作業表紙の再掲して
耐久性とモップ製品
て初の「エコマーク」認定
5366-310-0000(へ。

